

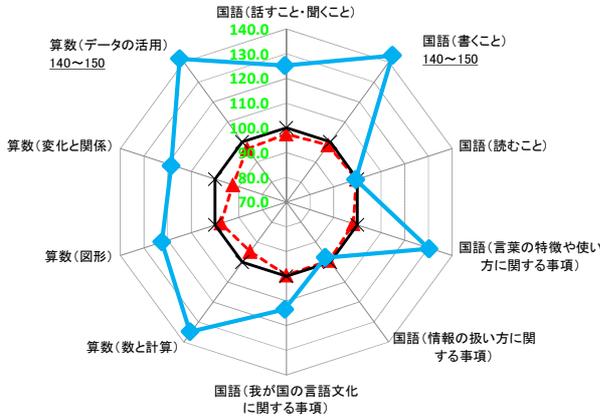
■北竜町内の状況及び学力向上策（小学校数:1校、児童数:7人）（中学校数:1校、生徒数:18人）

【教科全体の状況】

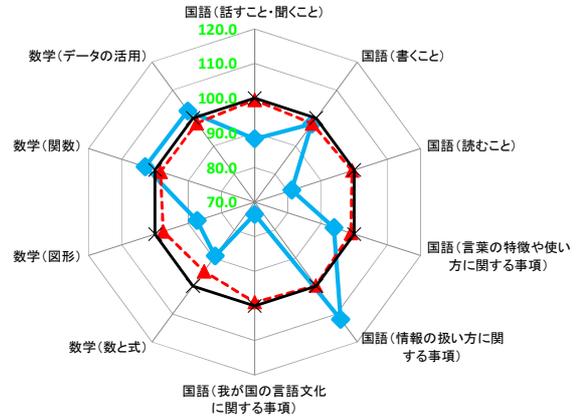
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを（市町村の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）

平均正答率	小学校	中学校
国語	83	53
算数・数学	82	51

小学校

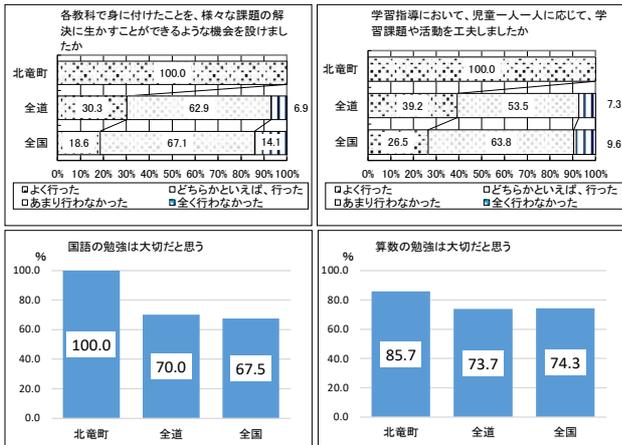


中学校

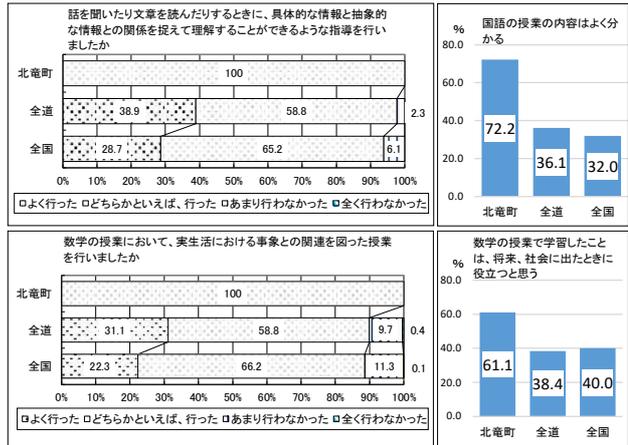


【質問調査の状況】

小学校



中学校



【上記結果の考えられる要因の分析】

小学校

各教科で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けたことにより、授業改善が図られ、国語及び算数の勉強は大切だと思うと回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

学習指導において、児童一人一人に応じて、学習課題や活動を工夫したことにより、国語及び算数の平均正答率が全国及び全道を上回ったと考えられる。

中学校

話を聞いたり文章を読んだりするときに、具体的な情報と抽象的な情報との関係を捉えて理解することができるような指導を行ったことにより、国語の授業の内容はよく分ると回答した生徒の割合及び国語の「情報の扱いに関する事項」で平均正答率が全国及び全道を上回ったと考えられる。

数学の授業において、実生活における事象との関連を図った授業を行ったことにより、数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思うと回答した生徒の割合及び数学の「関数」「データの活用」の領域で平均正答率が全国及び全道を上回ったと考えられる。

【北竜町の学力向上策】

- ◎ 全国学力・学習状況調査の結果を活用し、学力や学習状況の評価・分析をもとにした授業改善
- ◎ 町教育振興会での小中連携した研究活動など、教職員の実践指導力を高める取組の充実
- ◎ ICT化に向けての無線LAN環境の整備